

Form 5

平成 22 年 6 月 25 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 静岡県立磐田南高等学校 ・ 山村 京子

2. 参加研究者: Dr. M. Anacleto Arroja

3. 実施日時: 平成 22 年 6 月 23 日 (水) 14 :10 ~ 15 : 00

4. 参加生徒: 2 年生 38 人、 1 年生 0 人、 3 年生 0 人 (合計 38人)

備考: (例:理数科の生徒) 2年理数科生徒

5. 講演題目: (英文) Our Universe

(和文) 我らの宇宙

6. 講演概要: Google 地図で、磐田南高校でも私の京都の家でも、ポルトガルの私の生まれた村でもズームアップで航空写真を見ることが出来る。ポルトガルの国の紹介と、日本との長い歴史関係、日本語になったポルトガル語など。科学者、特に宇宙の研究者になることの面白さ。ニュートンやアインシュタインの研究の意義。ハッブル望遠鏡が捉えた美しい銀河の映像の紹介。宇宙の成分について分かっているのはごく一部であり、ダークマターやダークエネルギーなど、まだまだ解明せねばならない問題はたくさんある。研究者を目指すには、先ず英語をしっかり身に付けること。アーカイブにはたくさんの物理学のプレ論文が英語で出ているからアクセスしてほしい。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用による講演

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

京都大学基礎物理学研究所 修士課程2年 杉村 和幸 様

協力者 職・氏名

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項: